

音声機能・言語機能障害

主な特性

先天性または外傷や腫瘍切除などによって生じる音声機能の障害の人と、失語症などによる言葉の理解や表現が困難な言語機能の障害の人に分かれます。

聞き取りにくいことなどがありますが、一人一人の状況に応じて、コミュニケーションをとり、温かく、普通に接しましょう。

音声機能の障害の人は、通常の発声機能を失ったため、食道発声の訓練により音声を出しています。

食道発声訓練をしても音声の出ない人は、電子喉頭器^{でんしこうとうき}で、発声を調整しながら会話をしています。小さな声の人は、音声拡張器^{おんせいかくちようき}を使用して会話し、コミュニケーションをとっています。

必要な配慮

- 会話に多少聞き取りにくい点がありますが、耳は聞こえますので、注意深く聞きとり、普通に会話をしましょう。